

提案No.2024008

受付日：令和6年9月20日

所管課：総務課、財政課

提案件名	町政への提案件数、税金の使い道について
内 容 (要約)	<p>1. 町政への提案件数について 町政への提案が設置されて半年位になりますが、提案の件数は？</p> <p>2. 税金の使い道について 令和6年度になり町政も地域も動き出しておりますが、町民の町政、地区活動への意識は大変薄いと感じられます。亀嵩地区では「砂の器制作50周年」の記念事業が予定され、予算も付いたと聞きます。本当に必要な事業でしょうか？奥出雲町は小学校の統合問題を始め、少子高齢化に対する諸問題が山積みと考えます。今一度本当に必要な税金の使い道の検討をお願いしたいと思います。</p>
回 答	<p>1. 町政への提案件数について 令和6年3月より設置しております、町政への提案（意見箱）について、令和6年9月24日時点での提案件数は下記のとおりです。 ◎提案件数 10件（令和5年度 4件、令和6年度 6件）</p> <p>2. 税金の使い道について 現在、横田、仁多両地域の小学校統合事業は、地域住民、保護者、学校関係者をはじめ、多くの皆様のご協力により、それぞれ令和7年度、令和8年度の開校に向け、滞りなく準備が進んでおります。 本町におきましては少子高齢化、人口減少が進行しておりますが、こうした中におきましても、子育て・教育の充実と奥出雲を担う人づくり、活力ある産業の振興、安心して暮らせる生活基盤の確保とまちづくり、奥出雲の暮らしが幸せだと実感できる生活環境づくりに取り組んでいかなければなりません。 ご指摘いただきましたとおり、これら施策の推進にあたっては、限られた財源で最大限の効果が得られるよう努めてまいります。</p>